

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年6月13日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691700019
法人名	医療法人 松風会
事業所名	松風の里 (3階)
所在地	鹿児島県志布志市志布志町安楽52番地3 (電話) 099-472-0911
自己評価作成日	平成29年6月13日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年6月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

敷地内に同法人の医院を併設している。医院看護師が定期的に利用者様の検温に来て日頃の健康状態を把握している。体調不良や緊急時にはメールや内線電話で医院に報告し、早めの病院受診が出来る流れが出来ている。ホーム職員に看護師や准看護師が多数勤務しているため、医療面が充実している。医院との連携が密に取れている事でご本人やご家族の安心につながっている。

各ユニット毎に毎月行事を計画しており、利用者様に季節感や楽しみを感じてもらえる様に工夫している。お天気の良い日にはベランダで日光浴を兼ねて茶話会を開くこともあり、利用者様にも喜んでいただいている。

運営推進会議は地域の方とご家族に参加して頂いている。去年は外部講師をお呼びし、利用者様と一緒にフラワーアレンジメントを行い好評だった。年に2回の消防訓練ではご家族に利用者様役・地域の方に救助者役をしてもらい、実践に役立つように訓練をしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点 (評価機関記入)】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	各ユニット毎にそれぞれ理念を掲げ申し送りの際には唱和し職員の意識向上に努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議のメンバーに地域の方々が入っている。近くの商店街の方がメンバーなので日常的に交流を持っている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方々にも認知症の事を理解して頂けるよう運営推進会議の際に事例を挙げて話をする機会を設けている。認知症サポーター講座(社協)を地域の方に声を掛け開催した。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の際にはホームでの行事報告や日常の様子を写真で見て頂いている。また、ヒヤリハット報告等も行っている。メンバーから率直な感想・意見をもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	包括支援センターの方が推進会議メンバーに入っておりGHの現状を報告している。またGHで包括支援センター運営協議会の委員を引き受けているため、日頃から連絡しやすい関係にある。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束についての勉強会を年2回行っている。「言葉の拘束(スピーチロック)」ややむを得ず身体拘束を行う時に必要な要件(切迫性・非代替性・一時性)がある事などをテーマに行っている。スタッフ間での意見交換も活発に行われている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止について年2回勉強会を行っている。職員同士でも普段から注意し合えるような関係作りをしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	利用者が社協の日常自立支援事業を利用する事になり、社協の方から説明を受け、制度についてユニット職員が理解できるようカンファレンスで話をした。毎月社協職員がGHを訪問するので分からない事は尋ねている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際は契約書を項目ごとに詳しく説明している。また急変時の対応や看取りケアについても説明し、本人やご家族の理解納得の上でサインを頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者・ご家族から意見や要望があった場合はその都度話し合い、スタッフ全員が把握できるようにし、運営会議にも報告している。ご家族も推進会議メンバーに入っているため率直なご意見を直接頂いている。推進会議に参加できないご家族には出欠はがきに意見欄を設け要望を受け付ける様にしている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>カンファレンスで意見交換を行い意見や要望は運営会議で報告検討し今後の運営に反映させている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>スタッフ同士がなんでも話合える環境づくりが常に出来ていてカンファレンスや勉強会でも意見や要望が言いやすい。また研修案内などが来たら各自に受講を勧めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修案内などは全職員に紹介し参加を勧めている。また資格取得などの希望があった場合も資格取得に向けての受講が出来る様配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市の研修会などで他の施設のスタッフの方と意見交換を行ったりまた協力医療機関や他施設と連絡を取り合い訪問したりして情報交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に自宅(施設)を訪問し本人の生活環境の把握をしている。訪問時に本人やご家族の要望や不安などをお聞きしている。また施設職員にも話を聞き、入居時安心して過ごせるよう準備している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時のあいさつや笑顔を心掛けご家族が不安や要望を話しやすい雰囲気を作っている。ご本人の日常をお伝えしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族や入居前の担当ケアマネや介護スタッフから情報を得て初期ケアの参考にしている。例えば、転倒の危険がある人に対しては、居室のレイアウトを考えて布団(ベッド)を準備している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	得意な事・好きな事を生活歴から推察している。洗濯物たたみ・野菜の皮むきや味見などスタッフと一緒に買い物には買い物に同行して頂いている。花を生けるのが好きな利用者には生け花を楽しんでもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月お便りを送りGHでの生活の様子をお知らせしている。面会時や電話でも本人の状態を伝えご家族の意向を伺い、情報交換を行いながら家族にできる事を協力いただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時は本人の居室でゆっくりと過ごして頂いている。久しぶりに訪ねて来られたご家族とは写真撮影を行っている。ご家族の了解を得てプリントし本人の見える所に飾っている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の間関係を把握し自然な関係が出来る様見守りしゆっくり過ごせるように配慮している。トラブルになりそうな時はスタッフが仲裁に入りお互い嫌な気持ちを引きずらない様支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後の施設は情報提供を行っている。死亡退去された方はお通夜や告別式に参列する様努めている。ご家族の相談に対しては可能な限りお答えし不安が無いように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常会話・行動等から入居者様の想いを聞き日々の変化に気づき職員間でも意見を出し合い困難な場合は家族から意見を頂く。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご家族にセンター方式の記入をお願いしている。事前調査や本人やご家族からも今までの生活が継続できる様情報収集に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様の日々の過ごし方の中から本人の意思を確認し状況の変化に応じた出来るお手伝いをお願いしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様にとって何が必要か目標を決め職員間で意見を出し合い実行するように努めている。家族にも要望を伺い検討し見直しをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに上げてある記録を基に個別に記録を行う。月1回のモニタリングを行った上スタッフ間でカンファレンスで意見交換を行い計画的にそれに従い反映している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様からの要望や問題があればスタッフでショートカンファレンスを行い統一した対応が出来る様心掛けている。利用者の誕生日などは色紙などを使いお祝いをしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	年2回消防訓練を地域の方々に協力を頂き実施している。近くの商店での買い物を通し交流を深めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設医院の看護師が週3回利用者の検温を行い健康管理をしている。発熱などの時はメールや内線で医院に報告しスムーズに受診が出来る連携が取れている。他科受診に関してはスタッフ2名での付き添いを行い安心して受診を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>朝・夕に利用者のバイタル・食事摂取量・排泄の有無・体調管理の報告を行う。受診が必要な場合は医院の看護師へ連絡をいれ早めの受診をし対応している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者の入退院に関しては安心して治療が出来る様面会に行ったり入院中の様子を関係スタッフに尋ね情報収集を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>体調の変化に合わせ主治医が本人やご家族へ治療方針を説明している。重症化した場合はその都度主治医がご家族へ説明している。夜間急変した時は介護職⇒看護職⇒医院看護師⇒主治医に連絡が出来る体制がある。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変や事故が発生した時はすぐに応急手当の対応が出来る様勉強会を行っている。AEDや吸引器などの必要物品の点検を行い、緊急時に慌てないように確認している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回避難訓練を実施し内1回は消防職員立会いの訓練を行っている。推進委員の方にも参加して頂き終了後には反省会をして意見を頂いて次回の訓練の際に活かせる様にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人に合わせた声掛けやお世話ができる様、職員は常に考え接している。入浴や排泄時にはカーテンを閉めプライバシー保護に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人・家族の思い要望や意見など取り入れる様日頃から努力している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースや体調に合わせたお世話。必要な時は本人の意思を確認して無理のない支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	職員が髪の設定やひげそりの準備をして本人が出来れば本人に整容して頂いている。出来る人は本人が好きな洋服を選び替えて頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に食事の準備をし、一緒に食べている。一人一人の好みや力を活かし会話を持ちながら楽しく食事をし、片付けもして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の食事量を把握し、摂取量の少ない方にはおやつなどで補ったり水分補給も午前午後にお茶やジュースなどで水分確保の支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後一人一人のレベルに合わせて介助や自立で口腔ケアをしている。義歯は夕食後洗浄剤に浸け清潔に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間ごとや本人が訴えた時にトイレに誘導している。起立やズボンの上げ下げも出来るだけ自分でして頂くように支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝牛乳を飲んで頂いている。食事の中に便を促す食材を多く取り入れるなどの工夫を行っている。それでも排便がない時は主治医に報告し個人に合った下剤の調整をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴を基本としている。個々の体調に合わせて入浴を見合わせた時は清拭・更衣などで対応している。座位が保てなくなったりけが防止のためストレッチャー入浴も行っている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午前午後休んで頂いている。起きていたい時にはリビングでテレビを観たりおやつやお茶を飲んで過ごしていただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬前に職員二人で確認して飲まれたことも確認している。服薬後の効果や症状の変化について職員で話し合い主治医に相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	手伝って頂けるかその都度確認し洗濯物たたみ・野菜の皮むきなどをお願いしている。器での出前を取り、外食気分を味わい喜んで頂いた。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	出張カットを希望する方はホームに来てもらってカットしてもらっている。少しの時間でも散歩や日光浴を行っている。補聴器の電池を近くの電気屋さんまで一緒に買いに行っている。		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	金銭の管理は職員が行っているがご本人からの要望や必要な物がある時には一緒に買い物にでかけ購入して頂いている。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	要望がある時に職員見守りで電話をして頂いたり2カ月に一度写真やお便りにご家族へ日頃の様子をお知らせしている。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	毎朝、清掃や換気を行い動線には物を置かないように配慮し利用者がスムーズに通れる空間作りをしている。リビングでは季節の花を飾ったり音楽を流してゆったりとした時間を過ごせるよう工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>日中はテレビや音楽を楽しまれたり調理の手伝いや洗濯物たたみなどできる事をしながら一人一人が自分らしく過ごしておられる。また、利用者同士が気持ちよく過ごせるよう席の工夫もしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人やご家族から話を聞き使い慣れたなじみのある物を置いたり好みを活かしながら居心地の良い居室作りを工夫している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>掃除も行き届き、居心地よく過ごせるように工夫している。</p>	<p>環境整備を行い動線を確認したり安全に移乗や移動が出来る様努めている。またトイレなど場所が分かるよう大きく表示し工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない